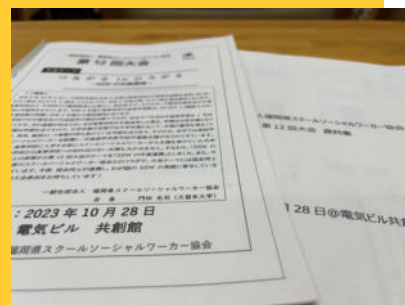


一般社団法人福岡県スクールソーシャルワーカー協会 広報誌

Relations



2023年度
Vol. 15

#第12回大会Report
#追悼特集
#SNS案内
#めしもりんのここしか勝たん



追悼特集

ありがとう二保紗矢さん

2023年4月21日、本協会正会員である二保(旧姓:関口)紗矢さんが逝去されました。岡山県出身の二保さんは、2010年4月に福岡県立大学人間社会部社会福祉学科に入学。大学では、スクール(学校)ソーシャルワーク教育課程を修了し、現役で社会福祉士国家試験に合格されました。大学卒業後は、福岡市、糸島市、東峰村の各教育委員会を歴任され、最後は広川町教育委員会のスクールソーシャルワーカーとして、地域と協働した支援活動に取り組んできました。勉強熱心な二保さんは、社会人になってから精神保健福祉士の資格を取得、さらには2017年に久留米大学大学院比較文化研究科前期博士課程を修了して修士(保健福祉学)の学位を取得されました。

私生活では2018年に結婚され、2019年に第一子、2021年に第二子を出産。仕事と育児を両立するパワフルお母さんとして、わが子のためにたくさんの愛情を注ぐとともに、地元のママ友たちとサークル活動を行うなど、充実した私生活を送られていました。そんななか届いた突然の悲しいお別れでした。ここでは生前に親交の深かった会員の方々から、想い出のエピソードやメッセージをご紹介します。二保さんを偲びたいと思います。

二保紗矢さんを偲んで

久留米大学 門田 光司

スクールソーシャルワーカー(SSW)になりたくて、福岡県立大学に入学し、卒業後は念願のSSWになる夢を叶えました。しかし、SSWとしての1年目、活動の滑り出しは困難があったようで、SSWを辞め、大学の恩師から勧められて、私の大学院に入学してきました。

彼女が久留米大学大学院比較文化研究科保健福祉社会学コース(前期博士課程)に入学し、私の下で2年間、指導を受けることになりました。とにかく、いつも笑顔が絶えない彼女でした。大学院での授業では他の院生とも仲が良く、毎回笑いの絶えない授業でした。修士論文では、彼女は学校の教員による体罰問題に関心があり、そのテーマを探究したいとのことでした。そこで、過去の裁判例を収集し、その資料から教員による体罰が発生する要因を質的に分析することを助言しました。また、大学院期間中に精神保健福祉士を取得してはどうかと助言し、実際に通信課程を経て資格を取得されました。私は彼女には再度SSWの機会を与えてあげたいと思っていました。そして、大学の恩師とも話をして、彼女は東峰村のSSWに復帰しました。

大学院を修了し、その後、彼女から結婚をするので来賓の挨拶をお願いしたいとの依頼を受けました。結婚式はとても和やかで楽しい会でした。いつも以上に幸せ満面の笑みでした。その後は年賀状でのお付き合いでしたが、協会の第11回大会(2022年10月30日)で久しぶりに2児の母となった彼女に出会いました。広川町での先駆的な取り組み報告を聞き、SSWとして大きく成長した彼女の姿がとても頼もしく感じた日でした。しかし、その日からわずか後、彼女が大病を患っていると聞き、完治を願いました。

私は笑顔が絶えない彼女を2回泣かしています。1回目は大学院入学後、SSWを辞めざるをえなくなった経緯を尋ねたときです。私のその質問に彼女の大きな目からは涙が溢れ出たのです。つかさず、私は「もう聞かないのでいいよ」と言いました。よほど辛かったのでしょうか。今でもその経緯は知りません。2度目は結婚式の主賓挨拶のときです。私が彼女に向かって挨拶をし始めると、突然、大きな目から涙が溢れ出たのです。このときは、きっと彼女は嬉しかったのだと思います。

SSWをこよなく愛し、これからもSSWとして大活躍をし、また2児の母として幸せな日々を過ごしていくはずでした。それを思うと、大変残念でなりません。

そんちょうとの思い出

福岡県立大学 奥村 賢一

私と二保（旧姓：関口）紗矢さんとの出会いは2010年の春でした。福岡県立大学に着任したこの年、関口紗矢さんは社会福祉学科の1年生として入学してきました。岡山県からやって来た紗矢さんは、みんなから「そんちょう」の愛称で親しまれ、入学時からとても目立つ存在でした。出会った頃から「将来はスクールソーシャルワーカーになりたいです!!」と宣言していましたね。大学3年の後期からは私のゼミに所属し、さらにスクール（学校）ソーシャルワーク教育課程も履修していたので、特に大学生活の後半はたくさんの思い出があります。

ゼミでは色々な場所に行きましたね。春の花見にはじまり、唐戸市場や秋吉台サファリランドでは、まだ幼稚園児だった私の娘も参加して遊んでもらいました。ラウンドワンや飲み会も楽しかったですね。私はゼミでとても印象に残っているエピソードが二つあります。一つは、勤労感謝の日にアルバムをプレゼントしてもらったことです。卒業時にゼミ生からプレゼントでアルバムをもらうことはありましたが、思わぬサプライズでとても嬉しかったのを覚えています。もう一つは、卒業時にプレゼントしてもらったネクタイです。ゼミ生全員の顔写真がプリントされているカラフルなネクタイでした。とても派手なネクタイですが、ゼミ生の結婚披露宴では必ず着用するようにしました。もちろん、そんちょうの時も忘れませんでした。あと、卒業時にもらったゼミ生からのメッセージボードは過去最大のサイズでした(笑)そんちょうからは「先生みたいな人と結婚したい」との一言。気恥ずかしかったけど、とても嬉しかったですよ。

スクール（学校）ソーシャルワーク教育課程は、過去最多となる10名の個性溢れるメンバーでした。北九州市立今町小学校での放課後まなび教室、系島市、須恵町、福岡市での学校ソーシャルワーク実習、色々な所で実習をしましたね。最初は個性が強すぎてバラバラだった10人でしたが、実習を重ねるなかで次第に個性が絡み合って絶妙なチームワークになりました。福岡市での実習はたくさん勉強しましたね。楽しいことよりも辛いことの方が多かったと思いますが、最後まであきらめることなく走り抜きました。実習報告会終了後のみんなの涙は今も忘れていません。

卒業後は念願かなって福岡市のスクールソーシャルワーカーになることができました。しかし、現実は厳しく、とても苦労の連続でしたね。その後、系島市や東峰村でもスクールソーシャルワーカーをしましたが、どんなに困難なことがあっても持ち前の精神力で前向きに頑張る姿が今でも目に浮かびます。この時はスーパービジョンでそんちょうに会えるのが毎回とても楽しみにしていました。そして、広川町でスクールソーシャルワーカーを始めた頃から、これまでの経験が実力として活かされるようになり、多くの人から信頼されるスクールソーシャルワーカーになりましたね。とても逞しく輝いて見えました。

2022年10月30日に行われた福岡県スクールソーシャルワーカー協会第11回大会では、シンポジストとして登壇してくれました。広川町の実践を紹介してくれましたが、とても素晴らしい発表でした。これまで決して平坦ではなかった道のりを地道に努力し続けた姿に感動するとともに、スクールソーシャルワーカーとして立派に成長した教え子をととても誇りに思います。そして大会終了後、病気のことをそんちょうから聞きました。あまりに突然のことで、頭の中が真っ白になりました。そんちょうは目にいっぱい涙を浮かべながらも、いつもの笑顔で「頑張ります」と言ってくれました。その後はLINEでのやり取りで近況報告を受けていましたが、とても辛い治療の連続だったと思います。しかし、そんちょうからのメッセージはいつも明るく、前向きな内容ばかりでした。でも、それはそんちょうの私に対する気遣いと最大限の優しさだと分かっていたので、とても切ない気持ちでした。

2023年4月21日、そんちょうは旅立ってしまいました。あまりにも早いお別れで、私自身いまだに現実を受け入れることができません。たくさんやり残したことがあったと思います。そんちょうの無念を思う心が張り裂けそうになります。でも、そんちょうのように前を向いて、笑顔で生きていこうと思います。私の心のなかでは今でもそんちょうは生きています。これからも生涯忘れることはないでしょう。スクールソーシャルワーカーをしっかりと学校現場に根付かせることができるよう、そんちょうの遺志も受け継いでがんばっていきます。そんちょう、たくさんの思い出をありがとう。あなたに出逢えて私は幸せです。



二保さんへ

スクールソーシャルワーカーSV 高口恵美

二保さんが大学院生の頃、わたしは仁保さんと出会いましたね。社会人としてもソーシャルワーカーとしてもピカピカの仁保さんは、不安を抱えながらも自分の夢をかなえようと前向きに取り組み、そして積極的に学んでいる姿が今でも思い出されます。

協会の研修などで顔を合わせてはちょっとお話する。そんな関係で数年を過ごす中で、いつも変わらない姿勢が清々しく、一緒に働けるようになったときは本当に嬉しかったです。

広川町でスクールソーシャルワーカーとして働くようになってからは、たくさんいろんなことをお話しました。いつも子ども達へのまなざしが温かく、目の前の子どもにとってのよりよい環境を考えるため、積極的に相談をしてくれていました。たいていのことは笑顔と明るさで吹き飛ばしちゃう仁保さん。先生方や関係機関との関係作りにもこやかに取り組み、でも必要なことは毅然とした態度でしっかりと伝える。そんな正義感の強さも印象的でした。

だけど本当はちょっぴり弱い一面も持っていて。ケースがうまくいっていないと感じているとき、誰かとうまくいっていないと感じた時、お話ししながら涙することもありましたね。そんな脆さや繊細さもまわりから愛される一因だなと思っていました。

子ども達との関係が深まるほどに、スクールソーシャルワーカーとして取り組んでみたい事やアイデアがあふれていきました。小学校での子どもの居場所「にはさやの部屋」や「保幼小連携」など新しい取り組みにチャレンジしてくれました。

プライベートでも「子育てママの居場所を作りたい」とキラキラした目で語っていましたね。すごくワクワクする時間をともに過ごせて幸せでした。これからも一緒に、もっともっと、いろんな取り組みの作戦会議を続けたかったです。

二保さんの想いを紡いでいけるよう、わたしなりにがんばってみるね。迷ったときは、心の中で声をかけるので、またあの笑顔で声を聴かせてください。

二保 紗矢ちゃんへ

福岡大学キャンパスソーシャルワーカー 堀川 裕美

紗矢さんとは大学の同期で、同じゼミになったことがきっかけで仲良くなりました。旅行が大好きな紗矢さんとは、学生の時から一緒に色んなところに行きました。紗矢さんとの最後の旅行は、和歌山県の高野山でした。パワースポットでエネルギーをチャージしよう！と意気込んで行ったのに、食べることが大好きな私達は宿坊での精進料理が物足りなくて、ひもじい思いをしたことは懐かしい思い出です。

結婚後の紗矢さんは、ママ友や子どもの交流活動を企画するなど、お子さんへの愛情いっぱい、紗矢さんらしく楽しみながら子育てをされているのが印象的でした。紗矢さんは学生時代から、努力家で芯が強く明くて・・・と、挙げたらキリがないくらい魅力的でしたが、母親になってからは柔和で温かい雰囲気が増して、一層素敵だと感じていました。

闘病中の紗矢さんは、こちらに気を遣ってくれていたのでしょうか。いつも以上に明るく連絡をしてくれて、会った時も笑顔で接してくれました。そして、ご家族のことや仕事のこと、趣味に関する事など、今後の目標や夢をたくさん語ってくれました。

そんちょー（紗矢さん）、たくさんの思い出をありがとう。そんちょーと長年友人でいられたことに感謝します。そんちょーとの思い出とともに、これからの人生を歩んでいきたいと思います。

二保さんの子ども達へ

須恵町教育委員会スクールソーシャルワーカー 横尾 愛

二保さんとはたくさんの縁があったような気がしています。私が二保さんとお話しするようになったのは、二保さんが広川町で働き始めた時です。私は広川町の隣の市で働いていました。その時に、お仕事を通してたくさんお話ししました。二保さんはどんな大変な事でも弱音を吐かずにおしろ子どもやその家族が“どうしたらよりよくなるか”ということを一生涯懸命に考える人でした。

しかも、キラキラした笑顔で話す二保さんの姿を見て、私は何度も勇気をもらいました。そんな明るい二保さんと仲良くなり、お休みの日に何度も一緒にご飯に行きました。そこではお仕事の話だけでなく、恋愛のお話もしました。ご主人、あなたたちのお父さんとの出会いを話してくれた時の笑顔は今でもはっきりと覚えています。

そして、あなたたちが生まれた時も連絡をくれて沢山の幸せが伝わりました。私は少しのお付き合いでしたが、お母さんはとってもエネルギーギッシュな人でしたよ。

二保 紗矢 さま

二保さんといえば和顔愛語という言葉がぴったりでした。和やかな笑顔と思いやりのある話し方はきっと二保さんに関わるすべての方に向けられていたことでしょう。

ユーモアのセンスも素晴らしく職員室での『みかんに落書き』のエピソードは今でも忘れられません。お仕事に対しては常に前向きで、新しい取り組みを協会で発表された姿は今でも私の中に生き続けています。

「ありがとう。」

「大好きです。」

八女市教育委員会スクールソーシャルワーカー 高巢 知美

秋の移ろいを感じながら、一年前の大会での二保さんの発表を思い出しています。いつも通りの笑顔と明るい声で堂々と発表されていたのを記憶しています。今、思うと、その時の心境は、どんなものだったのでしょうか。本当にすごい人だなと思います。仕事では、どんなに忙しくて大変で、無茶なことを要望されていても、二保さんから愚痴を聞いたことはありませんでした。強くて明るくて朗らかな人、そんな印象です。二保さんが子どもたちのために抱いていたたくさんの思いを繋げていけるよう、私も子どもたちの笑顔と幸せのためにこれからも頑張っていきます。

大牟田市教育委員会スクールソーシャルワーカー 井上 由紀

二保さんがそこにいると、その場があったかくなって、自然と会話が広がる・・・

初めて会ったときから、二保さんと一緒に過ごせる時間はいつも笑顔があふれていました。

スクールソーシャルワーカーという仕事に対して向上心を持ち真摯に向き合う姿、家事のやりくりについて大変そうでも楽しく語る姿、そして子育てや子どもの成長を何よりうれしそうに話している姿、どれも輝いていました。

二保さんの笑顔を見られないことは本当に寂しいですが、これからも心の中では、生き生きとした姿とひまわりのような笑顔が、ずっとずっと輝き続けます。

二保さんが誇りをもって向き合ってきたことを想い、今日もスクールソーシャルワーカーでいられることに感謝の気持ちでがんばります！

二保 紗矢さん、出逢えたことに感謝します。本当に、ありがとう。

大牟田市教育委員会スクールソーシャルワーカー 後藤 葉子

二保 紗矢さんとの思い出

にはさやさんの第一印象は名前が4文字で元気でおもしろい女の子だなあと。LINEでのやり取りの中で、子どもさんたちの写真を見せてもらい、育休明けの大変さやお互いの子育てのこと、料理のことなどを話したことを覚えています。

また、職員室で学校の先生とお菓子を食べたり、おしゃべりをしたりして信頼関係を作っていることや食事を食べに行ったりしているのを楽しそうにお話しされ、ほんとにこの仕事と食べることが好きなんだなあと感じていました。

コロナ禍もあり、なかなか会う機会がなく、また落ち着いたらSSWの会議で会えるだろうと思っていました。子育てのこととかまたゆっくり話をしたいなあと考えていました。

これから二保さんの想いをしっかりと引き継いで子どもたちと関わっていきます。

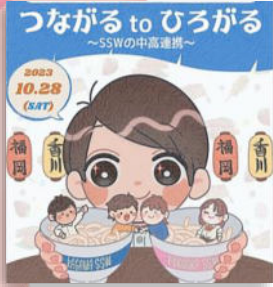
筑後市教育委員会スクールソーシャルワーカー 牛島 道太

つながる to ひろがる

～SSWの中高連携～

FUKUOKA  KAGAWA

第12回大会
Report



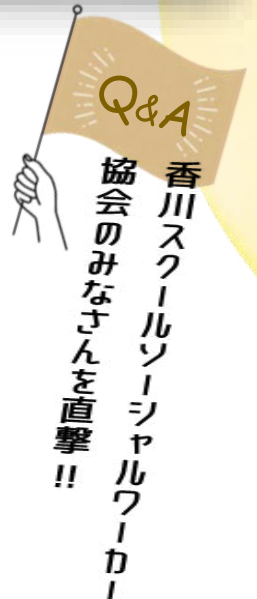
『香川県におけるスクールソーシャルワーカーの現状と中高・関係機関等との連携』
講師 藤澤茜氏 香川県教育委員会他スクールソーシャルワーカー

『中高連携に向けたスクールソーシャルワーカーの役割』

シンポジスト 平田 晶子氏 那珂川市教育委員会スクールソーシャルワーカー
池田 涼乃氏 香川県教育委員会他スクールソーシャルワーカー
豊福圭代氏 福岡雙葉学園スクールソーシャルワーカー
コメンテーター 藤澤茜氏 香川県教育委員会他スクールソーシャルワーカー
コーディネーター 門田光司氏 久留米大学教授



第12回大会は香川スクールソーシャルワーカー協会の皆様とのコラボ企画で行われました。中学から高校への繋ぎについて、学校やエリアの状況に応じた様々な工夫を学ぶ機会となりました。香川県と福岡県、働くフィールドは違っても共通の思いや葛藤などを持って日々活動していることを実感。またこのような機会を持てることを願っています。香川スクールソーシャルワーカー協会の皆様、ありがとうございました。



Q 大会の感想を教えてください。
A 緊張しました。福岡の実践が聴けて良かったです。日々の実践をもっと聴きたいです。
C あー確かに！みなさん、めっちゃ丁寧な実践をされていて凄いなと思いました。
B 香川とは全然状況が違うということ。分かっていても（SSWが）悩んだりしていることは共通する部分結構あるなど。

Q 香川のSSWあるあるを教えてください。
A 個性的な人が多くない？
C うーん、多いかも。でも、福祉職って基本的に個性的な人が多くないですか？
D 確かに。
B 女性が多い。
C ほんまにね！
A ほんとうに！
D 個別支援が好きで印象がある。ダイレクティブに関係を作りキーパーソンになれる人が多いですね。
A 足で稼ぐ人が多い。

Q 福岡に来ての感想を教えてください。
A 街です。
C 人が多いです。
D 大都会です。
B （地元の）大阪に帰りたくなりました。
Q 福岡のSSWもしくは協会の印象を教えてください。
A 若い！
D 熱い！
B おしゃれ！
C おしゃれな人が多いですね。
A そうそう、ドレッシー。
D 男性が多いなと思いました。

Q これからのSSWの未来に期待することは？
A 難しいですね。
D アドボカシーが重要だけど色々あって難しいです。
A そうそう。先日、地元のDr.と話していただいたんですが、子どもときちんとやり取りをしたうえで、その言葉の裏にある背景もきちんと理解しないと、単なる拡声器では意味がないと話していたんですよ。
C 香川のSSWに期待することは、個別だけでなく、もう少しメソ・マクロでやっていこうよとは思っています。
B そう、確かにね。
A 説明する力が欲しいですよ。
D 語彙力欲しい！。伝える力。
D どうやって合おうという心？
A 笑い
C 学校のシステム、何十人もの子ども一人の先生が見るといことが合っていないような気がして、そのなかで子ども一人ひとりを観ているSSWとしては、どういった支援が学齢期の子どもに何が必要なのかを考えていくことが大事だと思ってる。
B 特別支援教育も特別支援学校や特別支援学級が増えているけれど、インクルーシブ教育とは真逆の方向に進んでいるんじゃないですか？
D 本当に子どもたちのためになっっているのかモヤモヤする。
A SSWとしてそういう場面をたくさん目にしていないので、そこを何とかしたいという思いです。
C 全員、そうそう。



FOLLOW US!!

公式SNS始めました。

さまざまな情報をお届けします♪



FASSW

Official website



Instagram



Facebook



YouTube



めしもりんのここしか勝たん！Vol. 2

SUZUKAKE GOHAN (こども食堂CIRCLE)

ソーシャルワーカー
としても
ワクワクする
素敵な場所☆



SUZUKAKE GOHAN



SUZUKAKEGOHAN



CIRCLE_HIRAO



Address ▶ 福岡市中央区平尾浄水町4-15

Tel ▶ 092-406-8617

Parking ▶ あり

Open ▶ SUZUKAKEGOHAN

(火)-(土)11:30~20:00

(水)11:30~15:30

(日)11:30~17:00

Open ▶ こども食堂CIRCLE

(水)15:30~19:00

※日程等詳細はInstagramにて

広報委員飯盛の特集記事、
第2弾はどうしても紹介したいこちらのお店
です。街中にある古民家カフェ。
おしゃれ空間におしゃれご飯。彩り・栄養バラン
スがととのったおいしいお食事がいただけま
す。ランチ・カフェ・夜ごはん・デリテイクア
ウトいろんなかたちで利用可能。
そしてそしてこのカフェや定期的にこども食
堂を開催しているんです！！子どもやボラン
ティアの方などで毎回とも関わっています。
子ども無料、大人は500円。それぞれが自分ら
しく過ごせるとても素敵な地域の居場所です。
代表の田代あやさんはとてもアクティブな
方で、子どもたちが住んでいる地域で安心安全
に過ごせるようにご尽力されています。

MESHIMORIN NO KOKOSHIKAKATAN !

一般社団法人福岡県スクールソーシャルワーカー協会広報誌 RelationsVol.15

発刊日：2024年3月25日

発行責任者：奥村賢一 企画・編集：広報委員会（奥村賢一/蒲池恵/坂本美紗/飯盛友紀）

【お問い合わせ】

一般社団法人福岡県スクールソーシャルワーカー協会事務局

〒802-8577 北九州市小倉南区北方4丁目2番1号

北九州市立大学地域創生学群・基盤教育センター寺田千栄子研究室

TEL：080-3356-4214 E-MAIL：info@fassw-2012.jp